

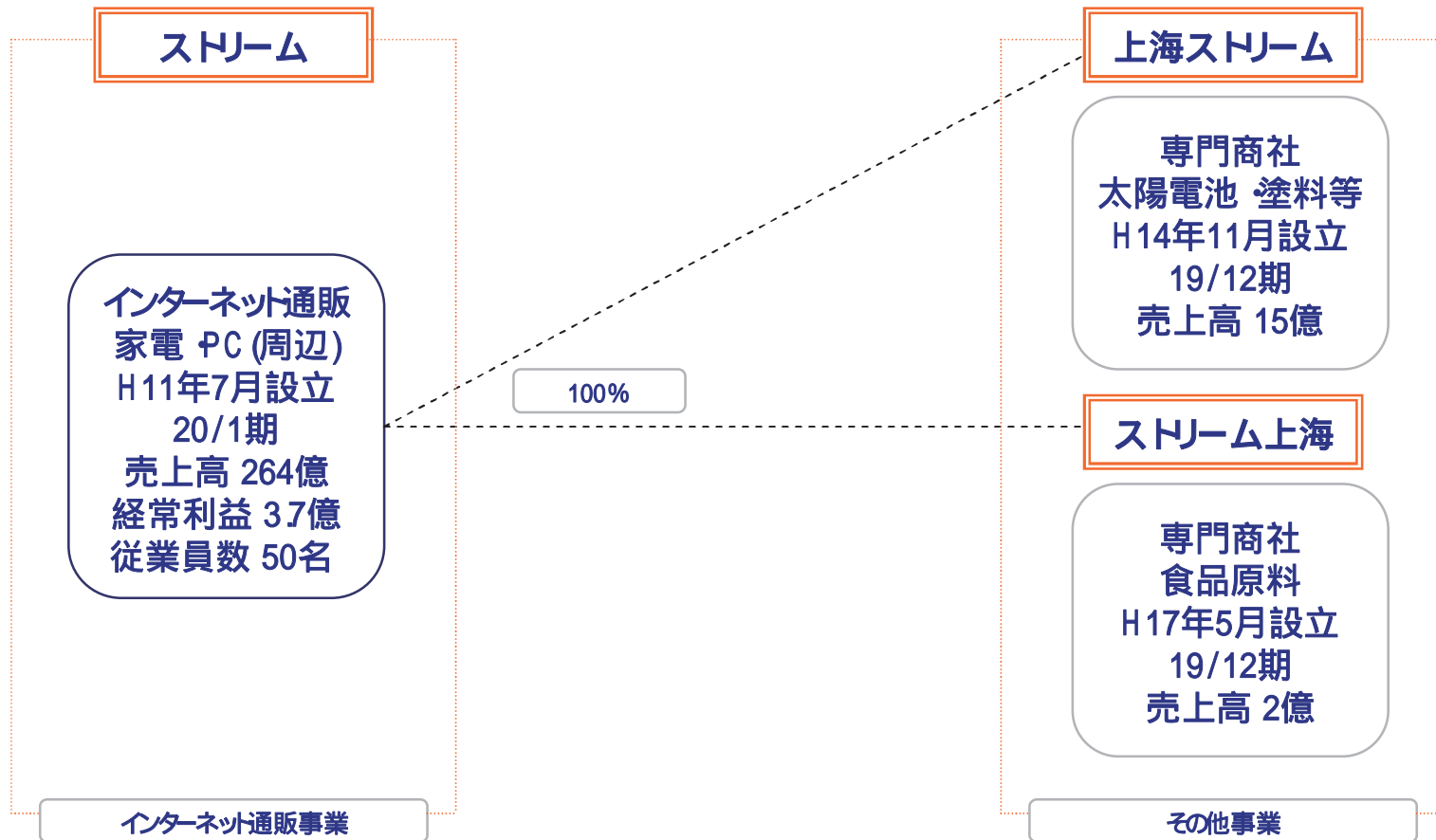
株式会社ストリーム 20/1期決算 説明資料

URL <http://www.stream-jp.com/>

平成20年3月27日

3	ストリームグループの概要
4	業績ハイライト
5	トピックス
7	来客数 / 購買客数
8	一人当たり収益
9	業績比較 (連結・単体)
10	セグメント比較
11	販売管理費 / CF
12	貸借対照表
13	商品戦略
14	経営戦略概要
15	業績推移

ストリーム グループ



【連結】
20/1期 売上高 280億 経常利益 4.4億 従業員数 80名

20/1期 (19年2月 ~ 20年1月) 連結業績

全社

売上高 28,094百万円 (前年同期比 27.7%増)

営業利益 443百万円 (前年同期比 27.9%増)

経常利益 443百万円 (前年同期比 23.9%増)

インターネット通販事業

売上高 26,122百万円 (前年同期比 27.7%増)

営業利益 364百万円 (前年同期比 25.2%増)

ショッピングサイトへの来客数 1450万人 (前年同期比 47.8%増)

購買客数 68万人 (前年同期比 73.0%増)

会員数 103万人 (08年1月末)

(主要取扱商品 家電・PC)

その他事業

売上高 1,971百万円 (前年同期比 14.9%増)

営業利益 78百万円 (前年同期比 39.4%増)

(主要取扱商品 太陽電池関連機械・材料、塗料、食品添加剤)

自動車関連、携帯電話関連 顧客確保

太陽電池中国最大手企業との取引拡大

広州事務所の開設

日系企業の囲い込み

ローカル企業の攻略

コンサルティングセールス

上海ストリーム

ストリーム上海

堅実な顧客開拓

経営環境

円高傾向

中国経済の堅調な伸び

食品安全問題

中カテゴリの管理と品揃えの強化

納期迅速化、納期表示の的確化

プロモーション型のセールス

クレジット決済 カレントプラス 立上げ

ポイント制度の導入

新商材の取扱 (携帯TELオンライン販売)

ネットショッピングの「楽しさ」を提供



集客力の向上

受注増/シェアの拡大に注力

利便性の向上



リピート率の向上

経営環境

国内消費の伸び悩み

家電量販店 再編 競争激化

EC 堅調

来客数 購買客数



来客数

20/1期の来客数は、1450万人

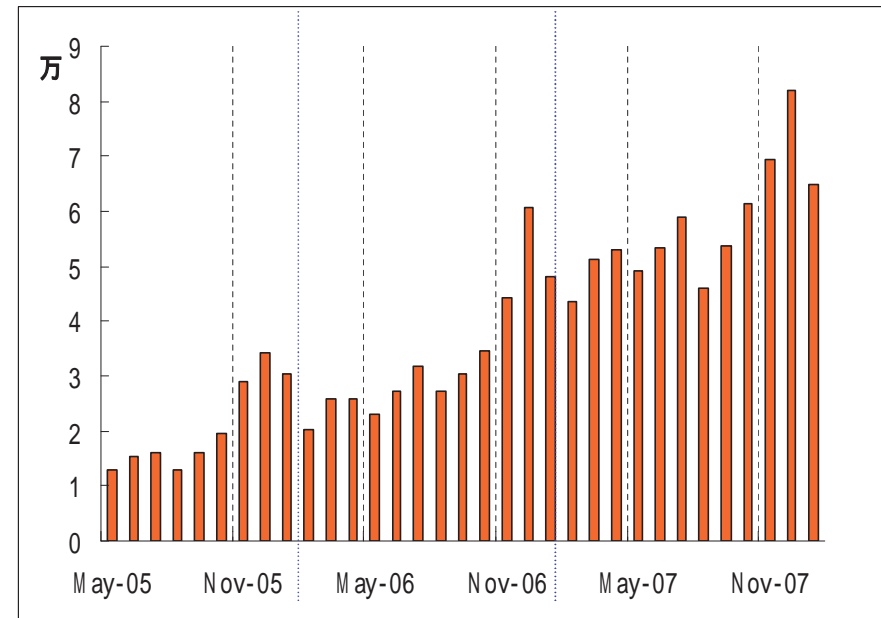
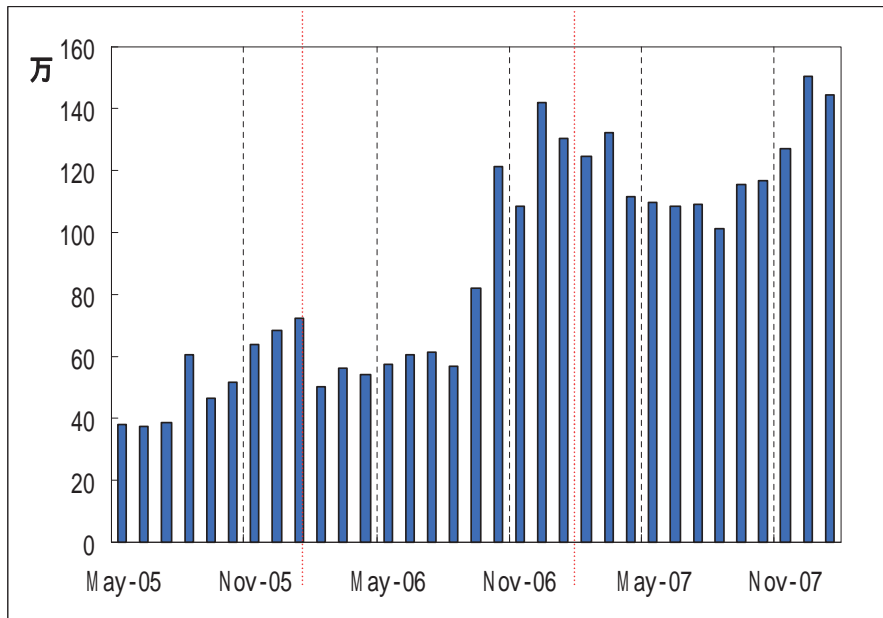
前年同期比 47.8%増

購買客数

20/1期の購買客数は、68万人

前年同期比 73.0%増

期末会員数 103万人

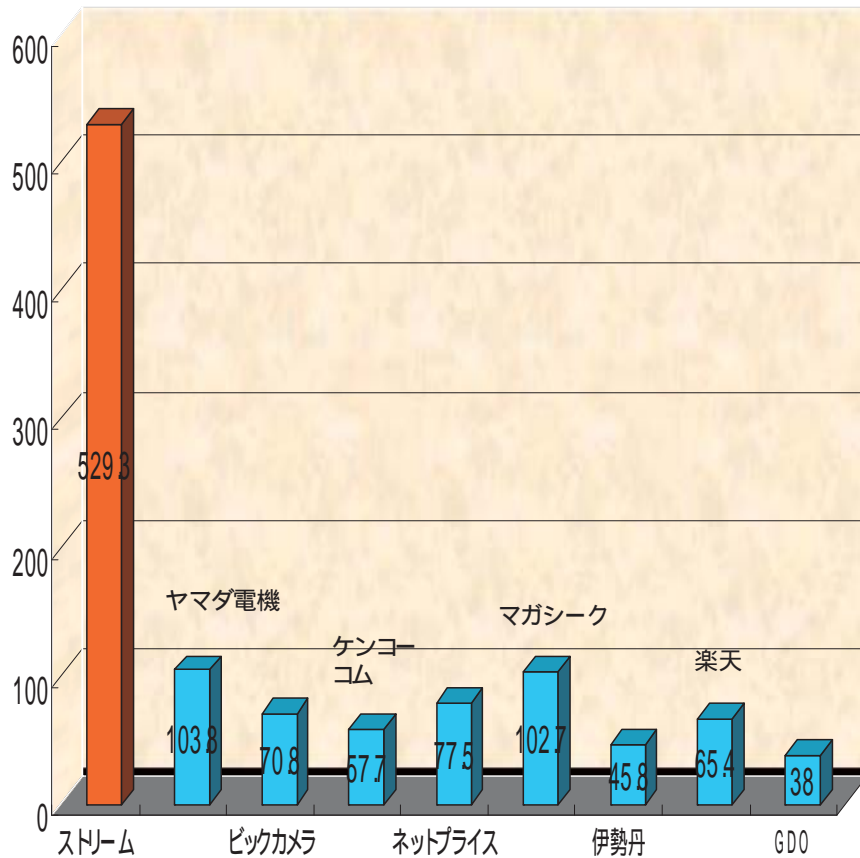


20年1月期 一人当たり収益

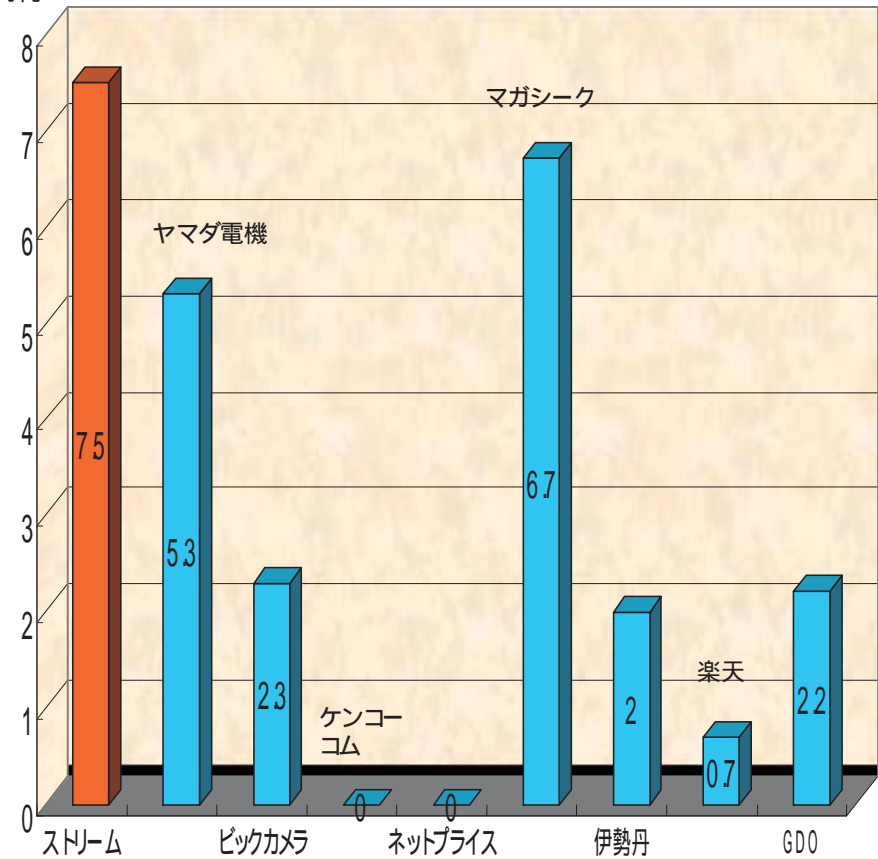


売上高

単位:百万円



経常利益



群を抜く一人当たり収益性

(注)測定決算期 ストリーム20/1、ヤマダ電機20/3予、ビックカメラ19/8、ケンコーコム20/3予、ネットプライス19/9、マガシーク20/3予、伊勢丹19/3、楽天19/12、GDO 19/12
 予想は会社四季報による、ケンコーコム、ネットプライスの経常利益はマイナス、楽天の経常利益はイレギュラー値、一人当たり→従業員+臨時雇用者(各社最新の有報、半報より)



20年1月期 業績比較 (連結・単体)



連結

	19/1	20/1	増減	
	前期	当期	金額	率
売上高	21,995	28,094	6,099	27.7%
売上原価	20,390	25,963	5,573	27.3%
売上高総利益	1,604	2,131	527	32.9%
販管費	1,258	1,687	429	34.1%
営業利益	346	443	97	28.0%
経常利益	357	443	86	24.1%
純利益	206	272	66	32.0%

売上高総利益率の向上 前期 7.3%から
7.6%へ

本社移転、物流費増加、人材投資等も
あり売上高販管費率 前期 5.7%から6.0%
へ

単体 (参考)

	19/1	20/1	増減	
	前期	当期	金額	率
売上高	20,931	26,463	5,532	26.4%
売上原価	19,486	24,561	5,075	26.0%
売上高総利益	1,444	1,901	457	31.6%
販管費	1,120	1,522	402	35.9%
営業利益	324	379	55	17.0%
経常利益	331	377	46	13.9%
純利益	184	216	32	17.4%

売上高総利益率 前期 6.9%、今期7.2%

売上高販管費率 前期 5.3%、今期5.8%

売上高営業利益率 前期 1.6%、今期1.4%

20年1月期 セグメント比較



セグメント損益

売上高】	19/1	20/1	増減	
	前期	当期	金額	率
インターネット通販事業	20,458	26,122	5,664	27.7%
その他事業	1,715	1,971	256	14.9%

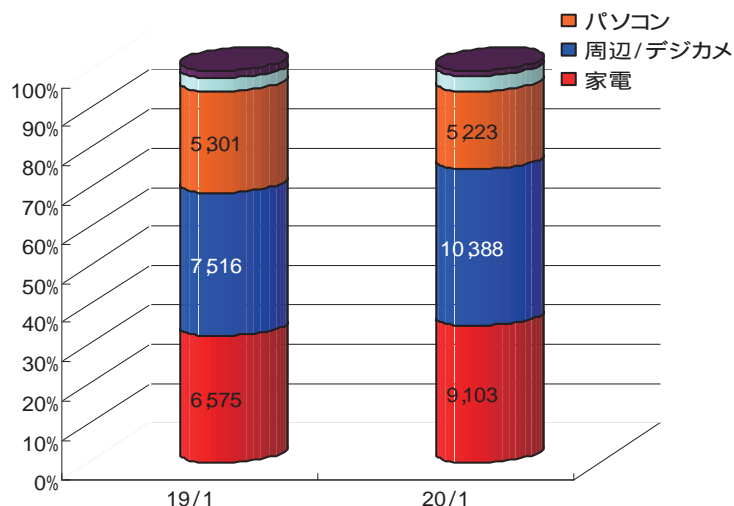
営業利益】	19/1	20/1	増減	
	前期	当期	金額	率
インターネット通販事業	291	364	73	25.1%
その他事業	56	78	22	39.3%

主力事業であるインターネット通販は堅調な伸び

その他事業が中国の堅調な経済成長に伴い収益寄与

その他事業においては、環境保全対応の太陽電池関連の機械装置、材料が利益寄与

インターネット通販事業 商品別売上



周辺/デジカメ分野では、外付ハードディスク、携帯音楽プレーヤー等が売上牽引

家電においては売上高に占める割合は34.8%、売上高は38.0%の伸びを示す。

パソコンは前期比マイナス

販売管理費 / CF



主な費用

区分	19/1	比率	20/1	比率	増加額	増加率
荷造発送費	266	21.1%	418	24.8%	152	57.1%
給与・賞与	225	17.9%	285	16.9%	60	26.7%
支払手数料	200	15.9%	225	13.3%	25	12.5%
ポイント引当繰入	0	-	25	1.5%	25	-
販売管理費	1,258		1,687	100.0%	429	34.1%

外注先へ支払う荷造発送費の増加

5月よりポイント制度を導入、ポイント引当繰入は将来見込使用の100%を計上

販売管理費全体の増加率は売上高の伸び(27.7%)を上回る

CF

区分	19/1	20/1
営業CF	292	31
税金等調整前利益	359	442
減価償却費	29	67
売上債権増減*1	223	230
たな卸資産増減*1	346	462
仕入債務増減*2	223	306
前受金*2	70	8
投資CF	37	126
有形固定資産支出	12	38
無形固定資産支出	124	91
財務CF	475	685
短期借入	480	13
短期借入返済	800	44
長期借入返済	184	-
株式発行	28	716

*1 は増加、*2 は減少

たな卸資産増加は、品揃強化に伴うもの

システム投資増による減価償却費増

短期借入返済し、長短借入残高なし

20年1月 要約貸借対照表



B/S

区分	19/1	比率	20/1	比率
流動資産	1,950	79.4%	3,236	85.4%
現預金	410		1,003	
受取手形売掛金	673		907	
棚卸資産	785		1,248	
固定資産	505	20.6%	554	14.6%
器具備品	13		31	
ソフトウェア	187	7.6%	220	5.8%
差入保証金	234		229	
繰延資産	-		0	
資産合計	2,457	100%	3,791	
流動負債	1,451	59.1%	1,972	52.0%
買掛金	1,230		1,539	
短期借入金	30		-	
固定負債	202	8.2%	0	0.0%
社債	200		0	
負債合計	1,654	67.3%	1,972	52.0%
株主資本	790	32.2%	1,812	47.8%
資本金	245		619	
資本剰余金	185		559	
利益剰余金	360		633	
評価換算差額等	11		6	
純資産	802	32.6%	1,819	48.0%

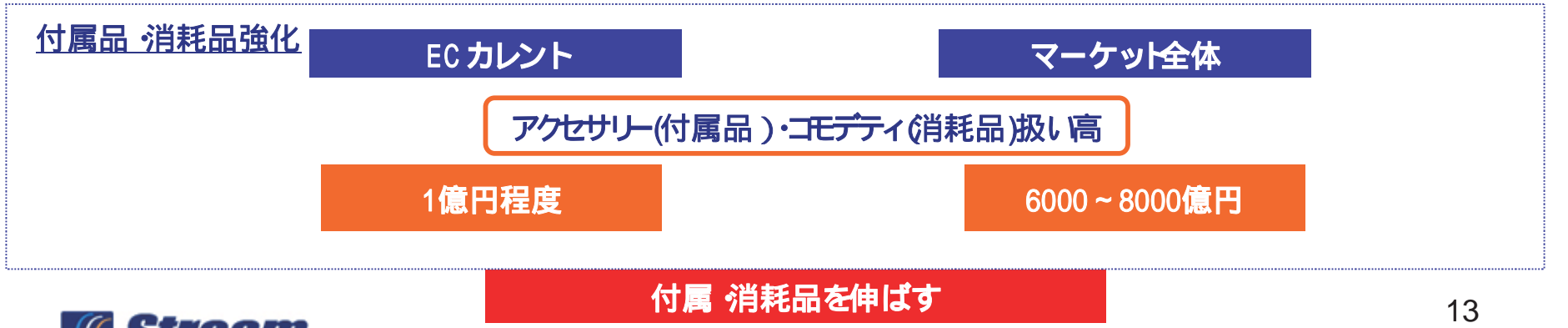
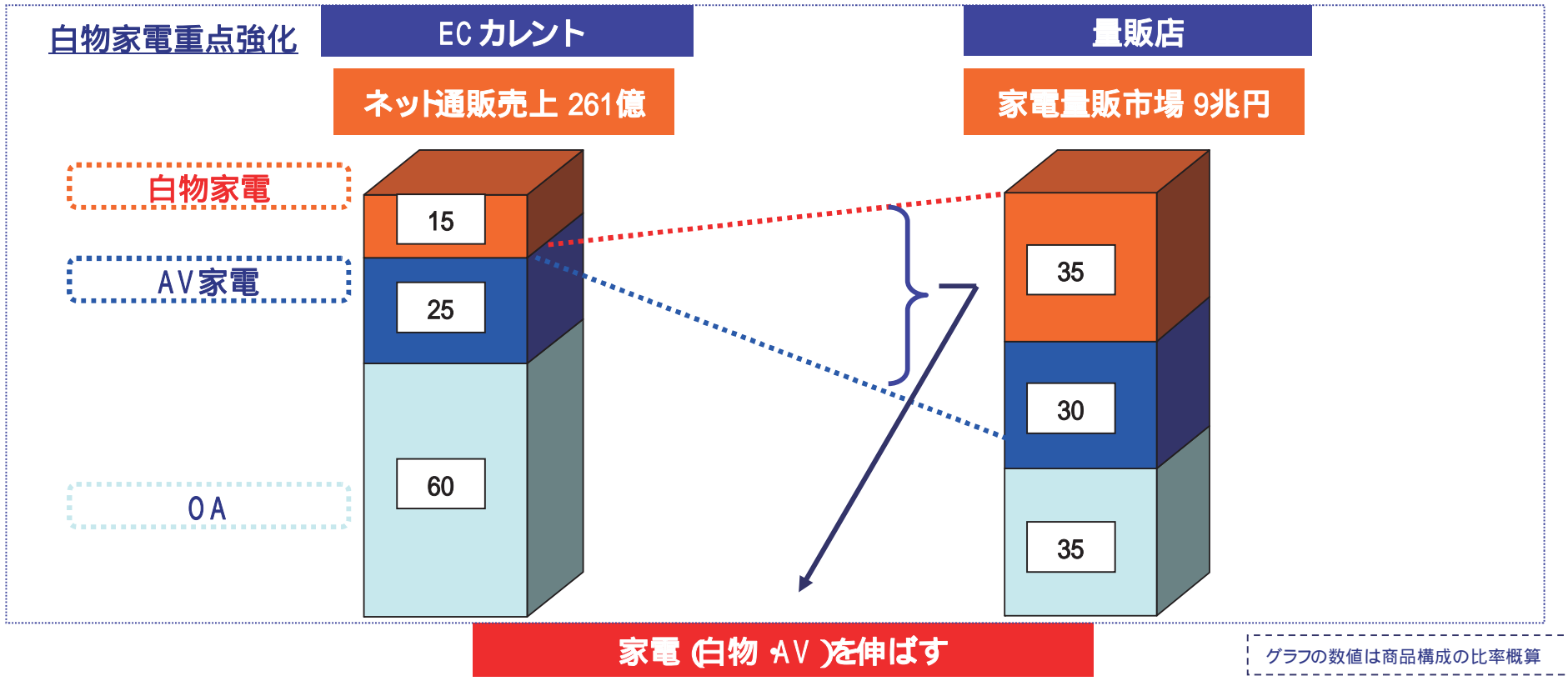
棚卸資産増、品揃え強化を反映

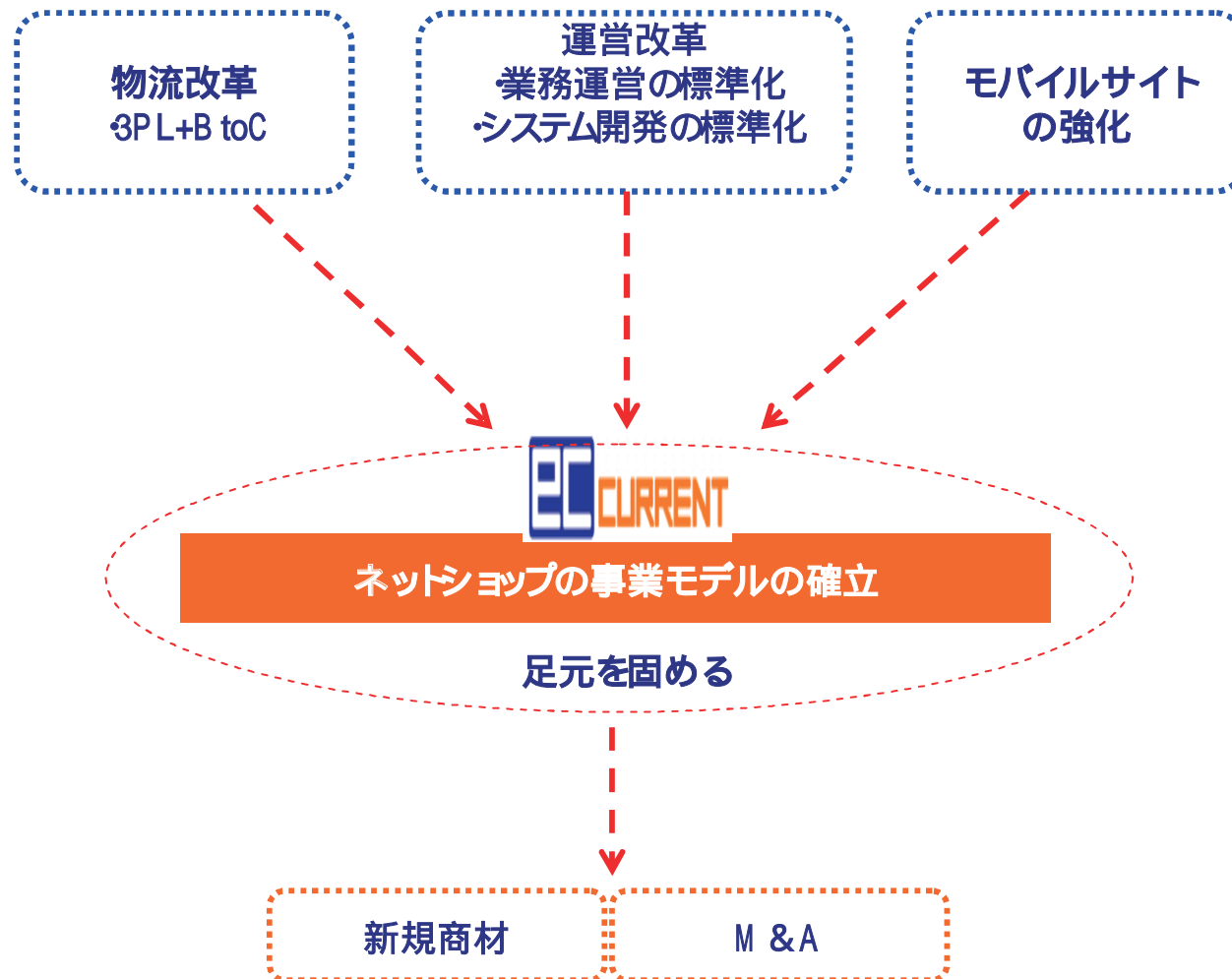
本社移転(3月)により有形固定資産増

システム投資(ソフトウェア=無形固定資産)は継続的に状況を勘案しながら

株式公開により強固な財務体質に

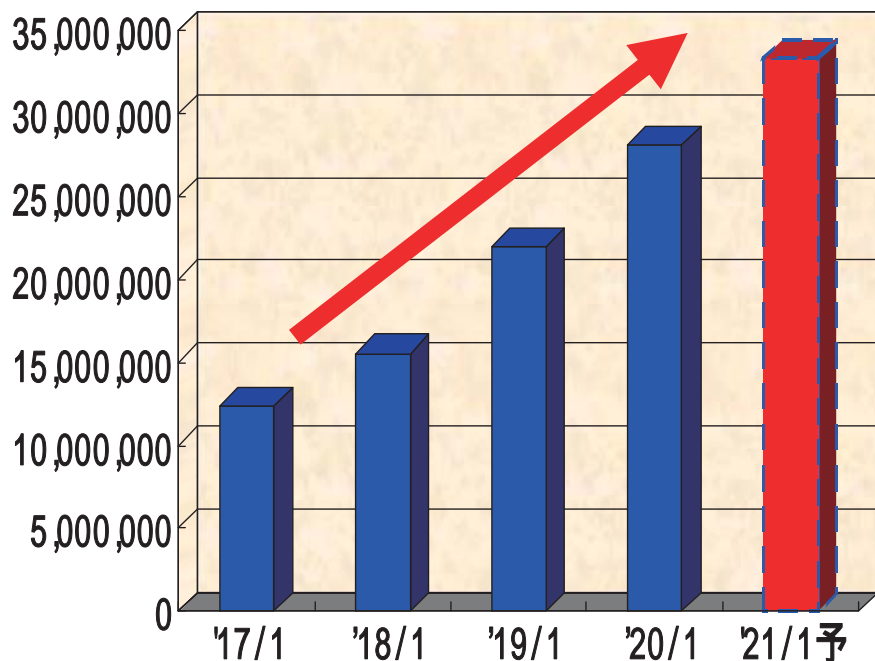
当期は配当実施予定 1株600円





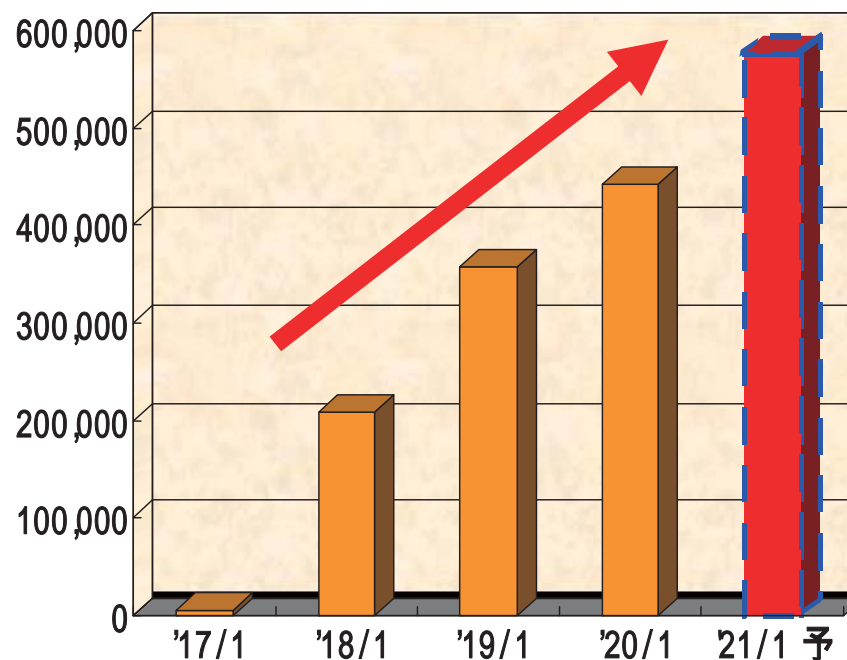
売上高 (連結)

(千円)



経常利益 (連結)

(千円)



21/1期(予) 売上高 333億円、経常利益5.7億円

20/1期(実) 売上高280億円、経常利益4.4億円

本説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化などにより、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

【Rに関するお問い合わせ先】
ストリーム経営企画部
TEL 03-5256-7684
ir@stream-jp.com